



第49回 日本フィル夏休みコンサート2023



S席 子供 3,400円/大人 5,400円
A席 子供 2,700円/大人 4,400円
B席 子供 2,000円/大人 3,400円

※ 子供 = 4歳~高校生
※ 4歳未満は入場できません。
チケットはお一人一枚ご用意ください。
※ 託児あり

第2部 バレエ



7月15日 土 14:00 相模女子大学グリーンホール
7月22日 土 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール
7月23日 日 14:00 江戸川区総合文化センター
7月24日 月 14:00 ウェスタ川越
7月28日 金 13:00 & 17:00 東京芸術劇場
7月29日 土 13:00 & 16:30 ソニックシティ
7月30日 日 13:00 & 16:30 サントリーホール

指揮: 梅田俊明 お話とうた: 江原陽子
バレエ: スターダンサーズ・バレエ団
バレエ演出・振付: 鈴木稔

♪特設ページ



第2部 あこがれの ピアノ



8月4日 金 14:00 柏市民文化会館
8月5日 土 13:00 & 16:30 サントリーホール
8月6日 日 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール

指揮: 大井剛史 お話とうた: 江原陽子
ピアノ: 上原彩子



【お申し込み】日本フィル・サービスセンター ☎ 03-5378-5911 (平日 10時~17時)
eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
——創立指揮者 渡邊 暁雄——

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第387回

横浜定期演奏会

387th YOKOHAMA Subscription Concert

2023年5月20日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm May 20th (Sat.), 2023, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: フィンランド大使館、神奈川新聞社、tvk

協力: 横浜みなとみらいホール

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

「森林への回顧 楽園への回帰」

インキネンとのベートーヴェン・ツィクルスの総決算。「第九」をメインに、日本フィルとインキネンのDNAともいえるシベリウス作品が組み合わせられる。そんなシベリウスの交響詩《タピオラ》は、彼の故郷フィンランドの自然を描いたものだが、それは単なる自然描写だけに終わらない。彼の先達ベートーヴェンが「第九」に描いたような楽園の喪失とそれへの回帰をも踏まえた、文字通りの「森林への回顧 楽園への回帰」なのだから。

Programs

【ベートーヴェン・ツィクルス Vol.6】

シベリウス: 交響詩《タピオラ》op.112 (約19分)

Jean SIBELIUS: Tone Poem "Tapiola" op.112

—— 休憩 (15 分) Intermission ——

ベートーヴェン:

交響曲第9番《合唱》ニ短調 op.125 (約65分)

Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.9 "Choral" in D-minor, op.125

指揮: ピエタリ・インキネン [首席指揮者]

Conductor: Pietari INKINEN, Chief Conductor

ソプラノ: 森谷真理 Soprano: MORIYA Mari

アルト: 池田香織 Alto: IKEDA Kaori

テノール: 宮里直樹 Tenor: MIYASATO Naoki

バリトン: 大西宇宙 Baritone: ONISHI Takaoki

合唱: 東京音楽大学 Chorus: Tokyo College of Music

コンサートマスター: 田野倉雅秋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ: 菊地知也 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

Profile

© Mechthild Schneider



指揮: ピエタリ・インキネン [首席指揮者]

世界各地で活躍の場を広げ注目を集めるインキネン。ザールブリュッケン・カイザー・スラウテルンドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者を務める。日本フィルにおける任期は23年夏まで。2022年1月より韓国のKBS交響楽団音楽監督に3年間の任期で就任。

2019年1月にプラハ響を率いて3週間の日本公演を行い、4月には日本フィルと共にフィンランド、ドイツ、オーストリア、英国への13年ぶりのヨーロッパツアーを実現。この時、日本とフィンランドの国交100周年を記念し、ヘルシンキとインキネンの故郷コウヴォラも訪れた。

ワーグナーの音楽はインキネンの活動の紛れもない中心であり、2020年夏のバイロイトでヴァレンティン・シュヴァルツ演出の《指環》全曲の新プロダクションを指揮すべく招待されたが、コロナ禍により中止となり、21年は「ワルキューレ」を指揮した。今年はいよいよ《指環》全曲を指揮予定。

客員指揮者として、コンサート・ヘボウ管、北ドイツ放響、ベルリン・シュターツカペレ、ミュンヘン・フィル、スカラ・フィル、ロサンゼルス・フィル、イスラエル・フィル、バイエルン放響、バーミンガム市響、ヘルシンキ・フィル、スウェーデン放響、オスロ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管等と共演。

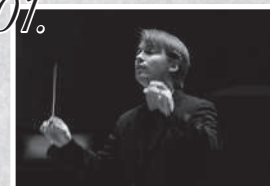
オペラではフィンランド国立歌劇場、ブリュッセルのモネ劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場に出演。ドレスデン国立歌劇場では、大成功した新プロダクションの《エフゲニー・オネーギン》を数回指揮している。

これまでに、2015年から2020年までプラハ交響楽団の首席指揮者、2008年から2016年までニュージーランド交響楽団の音楽監督を務め、現在は名誉指揮者の称号を持つ。

ヴァイオリニストの一面も持ち、ケルン音楽大学でザハール・ブロンに師事し、ヘルシンキのシベリウス・アカデミーでさらに指揮を学び始めるまでに、ソロ活動で様々な賞を受賞している。現在も、弾き振りや常連の音楽仲間との室内楽演奏を楽しむ。

ピエタリ・インキネン 2008年からの軌跡

01.



2008年4月、初共演!

02.

© 三好英輔



初共演後はすぐに首席客演指揮者就任披露演奏会でした。同門の榎本大進と共演。そしてそのリハーサルには、ダニエル・バレンボイムが激励に…2009年9月





ソプラノ：森谷真理

武蔵野音楽大学及び大学院、ニューヨークのマネス音楽院修了。2006年にメトロポリタン歌劇場にて《魔笛》夜の女王で大成功を収めたのはじめ、リンツ州立劇場の専属歌手を務め、国内外の歌劇場で活躍。2022年にはドイツの名門ザクセン州立歌劇場で《蝶々夫人》を主演し注目を集めた。コンサート作品ではプーランク《人間の声》が新聞各紙で高評され、ベルク『ヴォツェックより3つの断章』、R. シュトラウス『4つの最後の歌』、ツェムリンスキー『抒情交響曲』等で絶賛された。名古屋音楽大学准教授、東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学講師。



アルト：池田香織

慶応義塾大学法学部を経て二期会オペラスタジオ修了。二期会《サロメ》ヘロディアス等で出演する他、二期会《トリスタンとイゾルデ》イゾルデでその歌唱は注目を浴び、その後の2017年より4年かけて上演され、世界的な話題を呼んだ《びわ湖リング》では、2017年《ラインの黄金》エルダ以降、2018年《ワルキューレ》、2019年《ジークフリート》、2020年《神々の黄昏》と三演目でブリュンヒルデを演じ、ワーグナー歌手の第一人者として評価を確立。2021年新国立劇場での《ワルキューレ》ブリュンヒルデでも絶賛された。またコンサートでもヴェルディ「レクイエム」、マーラー「交響曲第2番〈復活〉」、ワーグナー「ヴェーゼンドンク歌曲集」などで好評を博している。今後は、7月佐渡裕プロデュースオペラ《ドン・ジョヴァンニ》にドンナ・エルヴィーラで出演予定。二期会会員。



テノール：宮里直樹

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了後、渡欧。ウィーン国立音楽大学にて学び、その後ミラノでも研鑽。第23回リカルド・ザンドナーイコンソ第2位、第48回日伊声楽コンソ第1位等受賞歴多数。オペラでは日生劇場《ラ・ボエーム》ロドルフォ、全国共同制作オペラ《ラ・トラヴィアータ（椿姫）》アルフレード等で絶賛された他、昨年も新国立劇場《ばらの騎士》テノール歌手、二期会《蝶々夫人》ピンカートン、日生劇場《ランメルモールのルチア》エドガルドで立て続けに出演、好評を博した。また全国各地のオーケストラとも、ヴェルディ「レクイエム」、マーラー「大地の歌」等でソリストとして共演、高い評価を得ている。「NHK ニューイヤーオペラコンサート」には2020年から毎年出演しており、他にもNHK「クラシック倶楽部」「ベストオブクラシック」等に出演。二期会会員。



バリトン：大西宇宙

武蔵野音楽大学及び大学院、ジュリアード音楽院卒業。シカゴ・リリック歌劇場にて研鑽。セイジ・オザワ松本フェスティバルでルイジ指揮《エフゲニー・オネーギン》にて日本オペラデビュー以来、国内外の歌劇場で活躍。オーケストラ声楽作品のレパートリーもバロックから近現代曲まで幅広い。カーネギーホールにてシベリウス「クレルヴォ」「カルミナ・ブラーナ」「ドイツ・レクイエム」など上演。五島記念文化賞 オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞を受賞。CD『詩人の恋』（ピアノ：小林道夫）をBRAVO RECORDS よりリリース。



合唱：東京音楽大学

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。日本フィルハーモニー交響楽団との共演は、「第九」を始めとして1979年以来40年以上の歴史を持つ。2020年以降の共演においては感染症対策に伴い合唱団の人数が大幅に制限される中、同楽団と今までにない「第九」の歓喜を表現することができた。他に2018年にサンクトペテルブルクフィルハーモニー交響楽団「イワン雷帝」、2019年にNHK音楽祭、2021年6月に「めぐろで第九2020+1」に出演。合唱指導は2022年度より、志村文彦、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、フレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えた。



今日のコンサートの聴きどころは？
ヨーロッパ文化史研究家小宮正安さんの
面白解説をお楽しみください！

16時20分
より
大ホール内
にて♪



小宮正安（こみや まさやす）●ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家。横浜国立大学（大学院都市イノベーション学府・都市科学部）教授。著書に『コンスタンツェ・モーツァルト〈悪妻〉伝説の虚実』（講談社選書メチエ）、『名曲誕生 時代が生んだクラシック音楽』（山川出版社）、『音楽史 影の仕掛人』『オーケストラの文明史 ヨーロッパ3000年の夢』（春秋社）、『モーツァルトを「造った」男 ケッヘルと同時代のウィーン』（講談社現代新書）、『愉悦の蒐集 ヴンダーカンマーの謎』（集英社新書）など多数。『ウィーンフィル・ニューイヤーコンサート』でのコメンテーターをはじめテレビやラジオへの出演、『東京・春・音楽祭』でのナビゲーターなど、幅広い分野で活躍している。

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

感染予防のご案内



03.

©三好英輔



2010年から2015年は「マーラー撰集」!

04.

©三好英輔



出番前に身だしなみを整えて……

05.



2013年の「シベリウス・ツィクルス」! リハーサルに臨みます

シベリウス：交響詩《タピオラ》op.112

日本フィル創立指揮者・渡邊暁雄は、フィンランド人を母に持ち、ジャン・シベリウス（1865-1957）の作品の演奏を通じて、世界の音楽界に多大な足跡を残した。日本フィルとともに交響曲全集を世界で初録音したことはその最大の功績と言え、“シベリウス全集の決定版”として、各国の音楽図書館にも所蔵されている。首席指揮者インキネンもその録音を聴いており、日本フィルのシベリウス・サウンドのDNAは、今日に至るまで脈々と引き継がれて来た。

《タピオラ》とは、フィンランドを代表する叙事詩『カレワラ』に登場する森の神（タピオ）の領土という意味だ。特定の物語はなく、北国に広がる暗い森を象徴的に表し、厳しい冷気に満ちた針葉樹や白樺の森の雰囲気、時に荒々しく、時に神秘的に表現される。折しもシベリウスは60歳台を迎え、『交響曲第6番』『同第7番』など円熟期の作品を作っていた頃。表現力と作曲技法が見事なまでに一致した内容で、まさに森の中に広がる永遠を聴く者に示してくれる。

なお出版譜には、英語、ドイツ語、フランス語で、シベリウスによる以下のような一文が掲載されていた。「そこには北方の荒れ果てた森が広がる／荒々しい夢の中に太古の秘密を湛えて／その中には数多の森を司る偉大な神が住まい／闇の中を森の聖霊が密かに飛ぶ」。1926年ニューヨーク交響楽団の指揮者ダムロッシュの依頼により作曲され、初演された。

楽器編成 フルート3（ピッコロ持替1）、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、弦楽5部。

ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》ニ短調 op.125

ゲーテと並び称される、ドイツの詩人フリードリヒ・シラー（1759-1805）、その彼が書いた頌歌「歓喜に寄す」が生まれたのは1785年であり、4年後にはフランス革命が勃発する。このようにヨーロッパ全体が激動の時代を迎えた最中に青春時代を過ごしたルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンは（1770-1827）は、フランス革命の掲げる“自由・平等・友愛”の理想に共鳴する。そしてやがて、「歓喜に寄す」に基づいて曲を作るという構想を抱くようになった。

交響曲第9番（通称「第九」）創作のスケッチがベートーヴェンの作曲ノートに現れ始めるのは1818年頃のこと、早くも第1楽章の断片がそこに見られる。ただしその後しばらくは、「荘厳

ミサ」など他の大作に没頭。4年間の空白期間を経た1822年頃に再着手し、翌23年には第1楽章から第3楽章までの主要な楽想を整え、1824年2月中旬までには全曲を完成した。なお全曲完成のほぼ半年前に、それまで別構想として持っていた「歓喜に寄す」のカンタータを、交響曲の終楽章に加えることを決め、現在のよう形になった。

結果この作品は、“合唱付交響曲”という、当時としてはかなり珍しい形の交響曲と化した。「交響曲」は元々、器楽の「響き交わし（Sym-phonía）」という意味合いから生まれた言葉だが、この「第九」をもって交響曲は、声楽をも含んだ器楽作品としての新たな可能性を得た。

フランス革命が起きてから30年あまり。革命の理想とは裏腹の厳しい現実が次々と世界を襲う中、それでも革命の精神を生涯にわたって守り続けたベートーヴェンとシラーの芸術的メッセージが、ここに生まれた。

第1楽章：アレグロ・マ・ノン・トロppo、ウン・ポーコ・マエストーゾ、ニ短調。

冒頭の弦楽によるトレモロは、天地創造の混沌を思わせるように不安定に響く。その後第1主題が、激しく下降するニ短調の分散和音型として呈示された後、“歓喜の主題”を思わせる穏やかな第2主題が続く。この2つの主題が様々に切り結び合いながら楽章が展開を遂げた後、最後は英雄の死を思わせる葬送行進曲風の楽想が現れる。

第2楽章：モルト・ヴィヴァーチェ、ニ短調。

ベートーヴェンが得意としたスケルツォ楽章。外観は中間にトリオ部を持つ伝統的な三部形式だが、両端のスケルツォ主部それぞれ自体がソナタ形式（主題の呈示～展開～再現）という、凝った“入れ子構造”にもなっている。

第3楽章：アダージョ・モルト・エ・カンタービレ、変ロ長調。

瞑想的な第1主題と、アンダンテ・モデラート、ニ長調の第2主題が交互に現れる。厳しい表情の前2楽章に対し、ここの長大な楽章では、天国的な安息感が満ちる。

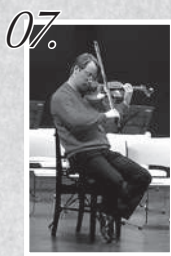
第4楽章：プレスト、ニ短調。

オーケストラのみによる序奏は、不協和音の爆発、そして低弦が奏でる朗唱風の重々しいメロディで始まる。このメロディは前の3つの楽章の主題をすべてを否定し、やがて“歓喜の主題”が姿を現す。続いて、件の朗唱風のメロディをバリトン独唱が歌い出し、これまで展開されてきた「器楽のみ」による交響曲のあり方をも否定。声楽と器楽の新たな響きが形作られる。死せる英雄が死後赴く楽園からやってきた喜びが、この世界から失われた自由や友愛をもたらすという、シラーの「歓喜に寄す」のメッセージ。それを音楽によって昇華させた、壮大なフィナーレである。

楽器編成 独唱ソプラノ、独唱アルト、独唱テノール、独唱バリトン、混声合唱（ソプラノ、アルト、テノール、バス）、ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、トライアングル、弦楽5部。



06. 2013年9月東京定期演奏会ではワーグナーの《ワルキューレ》より第1幕他を。お客様からの大絶賛をいただきました



07. 2014年の九州公演に登場したインキネン。よくコンサートマスターのヴァイオリンを借りて弾いていました



08. 2015年4月、2016年9月から首席指揮者に就任することを発表しました



09. 正指揮者山田和樹（当時）と初対面！



10. 2016年9月、首席指揮者就任



11. 2018年6月東京定期演奏会終演後に、アフター懇談会を開催

Ode „An die Freude“ von Friedrich Schiller
フリードリヒ・シラー 頌歌“歓喜に寄す”より

歌詞対訳：小宮正安

O Freunde, nicht diese Töne!
Sondern laßt uns angenehmere
anstimmen und freudenvollere.
(L.v.Beethoven)

Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken,
Himmlische, dein Heiligtum.
Deine Zauber binden wieder,
Was die Mode streng getheilt,
Alle Menschen werden Brüder,
Wo dein sanfter Flügel weilt.

Wem der große Wurf gelungen,
Eines Freundes Freund zu sein,
Wer ein holdes Weib errungen,
Mische seinen Jubel ein!

Ja, wer auch nur eine Seele
Sein nennt auf dem Erdenrund!
Und wer's nie gekonnt, der stehle
Weinend sich aus diesem Bund!

Freude trinken alle Wesen
An den Brüsten der Natur;
Alle Guten, alle Bösen
Folgen ihrer Rosenspur.

Küsse gab sie uns und Reben,
Einen Freund, geprüft im Tod;
Wollust ward dem Wurm gegeben,
Und der Cherub steht vor Gott.

Froh, wie seine Sonnen fliegen
Durch des Himmels prächt'gen Plan,
Laufet, Brüder, eure Bahn,
Freudig wie ein Held zum siegen!

Seid umschlungen Millionen!
Diesen Kuß der ganzen Welt!
Brüder - überm Sternenzelt
Muß ein lieber Vater wohnen.

Ihr stürzt nieder, Millionen?
Ahndest du den Schöpfer, Welt?
Such' ihn überm Sternenzelt!
Über Sternen muß er wohnen.

おお友よ、このような音ではだめだ！
そうではなく、もっと快い音に
賛同しよう そしてもっと喜びに満ちた音に
(以上ベートーヴェン作詞)

喜び、それは美しい神々の閃光
死せる英雄が赴く楽園の世界の娘
私たちは足を踏み入れる、炎に酔いしれつつ
素晴らしいあなたの聖所へと
あなたの魔法は再び結びつける
世のしきたりが厳しく隔てていたものを
全ての人々は兄弟となる
あなたの柔らかな翼が憩うところ

大きな幸いを得た人、つまり
友を友とできた人
優しい妻を得た人は
その喜びを共にしよう！

そうだ、たとえたったひとつの魂であっても
自分のものと呼べるものを世界で持つ人は！
そしてそれができない者は、そっと立ち去るがよい
涙しながらこの集まりの外へ！

全ての存在は喜びを飲む
自然の乳房から
善人と呼ばれる人も、悪人と呼ばれる人も皆
ばらの道をゆく

喜びは私たちに接吻と葡萄酒とを与えてくれた
そして死の試練をのりこえた友も
快楽などは虫けらに与えてしまえ
そうすればケルビムが見えてくる、神の前に

朗らかに、創造主の恒星が飛翔するように
天の輝かしい運行の中を
進め、兄弟よ、君たちの行く道を
喜びに満ちて、勝利へ向かう英雄のように！

抱かれよ、数多の人々よ！
この接吻を全世界に
兄弟たちよ、星の輝く天幕の彼方には
慈愛に満ちた父がいるに違いない

ひざまずくか、数多の人々よ？
創造主を感じるか、世界よ？
その方を星の輝く天幕の彼方に探せ！
星の彼方にその方はおられるに違いない



Column

歴史でひもとく！ ～クラシックこぼれ話 by 小宮正安



永遠を宿す音楽

日本フィルの首席指揮者としては、インキネン最後の横浜定期演奏会となる今回のコンサート。そこでは単に有終の美を飾るだけに、インキネンおよび日本フィルゆかりのシベリウス作品、そして西洋音楽史上における記念碑的作品の「第九」が取り上げられるのではあるまい。プログラムを見ても分かるように、そこには終わりの彼方に広がる「永遠」が志向されている。

たとえば《タビオラ》の場合。そこで語られているのは…曲目解説にも記したように…、荒れ果てた森、つまり生命体として終わったかのように見える森の中にこそ、神や聖霊といった、時間を超えた永遠の存在の息吹が豊かに息づいているのだ、というメッセージに他ならない。「第九」にしても同様だ。クライマックスを飾る「歓喜に寄す」の骨子は、闘いに斃れた英雄を迎える死者の園からきた娘＝喜びが、失われてしまった本当の幸福、つまり「自由・平等・友愛」をこの世界に蘇らせる、という内容となっている。

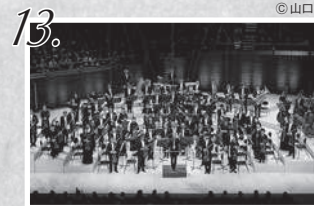
つまり《タビオラ》にしても「第九」にしても、終わりがあるからこそ、その先に永遠への希望があることを描いた作品なのだ。そしてそれは、ヨーロッパ文化の根底を成し、ベートーヴェンにもシベリウスにも深い影響を与えたキリスト教の世界観にも通じるものである。

「終わりがあるからこそその始まり」。そんな思想を根底に宿したヨーロッパ文化の結晶である西洋音楽の数々を、日本フィルとともに私たちに届けてきたインキネン。首席指揮者としての時代は幕を下ろすものの、その先に広がる有限の時間を超えた永遠の中に、彼も日本フィルも音楽を奏でてゆくのだろう。

華々しく終わる「第九」の最後、楽譜を見るとそこには最後の音の後に休符が書かれており、その上にフェルマータ（音や休符を長く延ばす指示）の記号が付されている。音の後に続く沈黙の中に広がる永遠…。



12. マエストロ・ラザレフが定期演奏会に！



13. 2019年4月は13年ぶりのヨーロッパ公演！ 念願のフィンランドでも



14. 2021年11月、新型コロナウイルスの影響で来日できていなかったインキネンが、2年ぶりに来日できました

■新入団員のお知らせ

2023年5月1日付でトランペット・セクションに犬飼伸紀が、5月6日付でヴァイオリン・セクションに松川葉月が、トロンボーン・セクションに笠間勇登が、入団いたしました。今後の活躍にご期待ください。

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54 ~ 23:00 (第3週、第4週は再放送)。4月~6月は広上マエストロ。ぜひご覧ください!

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

Next YOKOHAMA

第388回 横浜定期演奏会

〜ロマン派を代表する
二人の作曲家による至上的作品〜

2023年6月3日(土) 17:00 横浜みなとみらいホール

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ピアノ: 小山実稚恵

※当初の予定から
変更になりました。

チャイコフスキー:

ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23

シューマン:

交響曲第4番 二短調 op.120

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

※Ys席はS席以外から選べます。※車いすおよび障害者手帳をお持ちの方は、サービスセンターへお問い合わせください。

©山本倫子

©Hideki Otsuka



小林研一郎



小山実稚恵

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

●公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。
●ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。
心より御礼申し上げます。

4月の寄付者 匿名5名

敬称略・五十音順

日本フィル・サービスセンター

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)

FAX: 03-5378-6161 (24時間)

e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールディダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/日本料理「大志満」
中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。
※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊曉雄
- 桂冠名誉指揮者/小林研一郎
- 名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者/ジェームズ・ロッドラン
- 客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

- 首席指揮者/ビエタリ・インキネン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)/広上淳一
- 首席客演指揮者/カーチュン・ウォン

公式Twitter
@Japanphil公式
アカウント

ソロ・コンサートマスター

扇谷泰朋
木野雅之
田野倉雅秋

アシスタント・
コンサートマスター
千葉清加

第1ヴァイオリン

伊藤太郎
太田麻衣
九鬼明子

齋藤政和
神 渚
竹歳夏鈴

谷崎大起
田村昭博
中谷郁子

西村優子
平井幸子
本田純一

□松川葉月

第2ヴァイオリン

遠藤直子
大賀聖子
岡田紗弓

加藤祐一
○神尾あずさ
川口 貴

佐藤駿一郎
末廣紗弓
豊田早織

町田 匡
山田千秋
ヴィオラ

☆安達真理

小俣由佳
小中澤基道
児仁井かおり

高橋智史
中川裕美子
中溝とも子

松澤雅奈
ソロ・チェロ
菊地知也

ソロ・チェロ

チェロ
石崎美雨
伊堂寺 聡

江原 望
大澤哲弥
久保公人

山田智樹
コントラバス
鈴木優介

◎高山智仁
成澤美紀
○宮坂典幸

□森田麻友美
山口雅之
フルート

齋藤光晴
難波 薫
◎真鍋恵子

オーボエ
佐竹真登
◎杉原由希子

○松岡裕雅
クラリネット
◎伊藤寛隆

阿部紋子
◎楠木 慶
照沼夢輝

堂面宏起
ファゴット
大内秀介

◎鈴木一志
○田吉佑久子
中川日出鷹

ホルン
伊藤 舜
宇田紀夫

◎信末碩才
原川翔太郎
☆丸山 勉

村中美菜
ソロ・トランペット
オッタビアーノ・
クリスト・フォリ

ソロ・トランペット

トランペット
□犬飼伸紀
◎大西敏幸

中里州宏
中務朋子
星野 究

トロンボーン
◎伊藤雄太
□笠間勇登

バス・トロンボーン
中根幹太
テューバ

柳生和大
ティンパニ
◎エリック・バケラ

パーカッション
大河原 渉
ハーブ

松井久子
楽団長
中根幹太

チーフステージマネージャー
阿部紋子
ステージスタッフ

長橋健太
森田大翔
チーフインスペクター

佐藤駿一郎
インスペクター
宇田紀夫

鈴木優介
ライブラリアン
鬼頭さやか

杉本哲也
◎首席奏者
○副首席奏者

☆客演首席奏者
□試用期間
理 事 長 (代表理事)

理 事 長 (代表理事)

平井俊邦
副理事長(代表理事)
五味康昌

常務理事(代表理事)
後藤朋俊
常務理事(代表理事)

中根幹太
常務理事(代表理事)
福井英次

理事
石井啓一郎
遠藤 滋

佐々木経世
田村浩章
戸部邦弘

福本ともみ
監事
上條貞夫

福澤宏哉
評議員会会長
加藤丈夫

評議員
青井 浩
安孫子 正

荒時康一郎
石塚邦雄
石村 等

稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫

海堀周造
梶浦卓一
河北博文

喜多崇介
木村恵司
久保田 隆

小林研一郎
島田精一
津田義久

西澤 豊
野間省伸
葉田順治

名誉顧問

熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔

アドバイザリー・ボード
大島 剛
小野敏夫

小網忠明
後藤 茂
武田隆男

田邊 稔
溝口文雄
コミュニケーション・ディレクター

マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司

磯部一史
江原陽子
及川ひろか

小山 清
斎藤千種
佐々木裕司

佐藤玲子
菅原 光
高木裕子

高木 洋
高倉理実
田沢 烈

立川和男
堂阪俊子
豊盛尚代

豊田尚生
中川二朗
永田健一

中務幸彦
奈切敏郎
橋本 洋

畑井紀代子
平賀法子
福島喜裕

松本克己
松本伸二
三本克郎

宮武良平
三好明子
森 茂

山下進三
山本淑子
山本辰夫

渡辺智雄

団 友

青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江

新井豊治
伊藤恒男
伊波 睦

遠藤 功
遠藤剛史
大石 修

大川内 弘
大味 知子
金本順子

蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一

岸良開城
吉川利幸
木村正伸

小林俊夫
小山 清
斎藤千種

佐々木裕司
佐藤玲子
菅原 光

高木裕子
高木 洋
高倉理実

田沢 烈
立川和男
堂阪俊子

豊盛尚代
豊田尚生
中川二朗

永田健一
中務幸彦
奈切敏郎

橋本 洋
畑井紀代子
平賀法子

福島喜裕
松本克己
松本伸二

三本克郎
宮武良平
三好明子

森 茂
山下進三
山本淑子

山本辰夫
渡辺智雄

(2023年5月6日現在)